



令和元年七月

# 城北中だより

## 城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

## 生徒数

1年	173名
2年	156名
3年	176名
特別支援学級	6名
全校生徒数	511名

## 今日まで そして 明日から

校長 玉崎 芳行

ここに、一枚の写真がある。

「我らが学び舎」を築いている。時を遡ること四十八年、昭和46年から47年頃の本校校舎建築中の様子である。

地域の皆様の篤志の支援、保護者の方々の様々な願い、生徒の無限の夢、教職員の滾る情熱がこの学び舎に刻まれていくことになる。



学校沿革誌を紐解く。右のように記されている。岩槻中学校内で開校を迎え、新校舎移転、河合中学校との統廃合があった。このような歴史の中で、本校開校記念日は7月2日と定められた。明日は、四十九回目となる。

昭和46年4月1日：岩槻市立岩槻中学校を分離し、東武鉄道以北を学区として、岩槻市立城北中学校を設立し、岩槻中学校内で開校する。(生徒数445名 11学級 職員20名)  
昭和46年7月2日：現在地で、校舎の地鎮祭を行い工事に着工する。開校記念日とする。  
昭和47年3月30日：校舎竣工し、岩槻中学校より現校舎に移転する。  
昭和47年4月1日：河合中学校を廃し、城北中学校に統合する。(生徒数583名 15学級 職員26名)

校長室では、歴代卒業アルバムや開校当初の写真、文献を大切に保管している。その貴重な“足跡”の一つに「城北中のあゆみ第一集」が現存する。巻頭に、田島輝夫初代校長が一筆残されている。

『城北中のあゆみ第一集は 新設校城北中百世の歴史の基礎をがっちり築くため 新しい学校創造の意欲に燃え 教師、生徒、父母三者一体となって基礎づくりに邁進した四か年の記録である』

そこには、開校一年目の岩槻中での合同体育祭や第一回卒業式から始まり、新校舎移転後の生徒、保護者、教職員が共に汗を流す中庭造園の様子、そして日々の授業や学校行事など「我らが学び舎」創りの様子がしっかりと刻まれている。先達の重ねた星霜の尊さに、畏敬の念を禁じ得ない。

その瞬間、はっと気付いた。屈託のない笑顔や直向きな瞳が、令和の“チーム城北の同志”であるあなたと何ら変わらないということに。明日からも、あなたの笑顔や瞳が輝き続けることを信じている。